

■欧州：欧州委員会、2013年におけるEU大のCO2排出枠を最終決定

欧州委員会は2010年10月22日、2009年4月に採択された改正EU-ETS（EU排出量取引制度）指令に基づき、EU-ETS第3期の初年度にあたる2013年のEU大CO2排出枠を約20.4億トンと定めた。2013年以降は、毎年1.74%にあたる3744万トンが削減される。委員会は2010年7月にも、第2期（2008年～2012年）の平均排出枠（20.3億トン）を元に2013年の排出枠を19.3億トンと算出していたが、今回は、それに第3期で新たに加わる部門や温暖化ガスなどを反映した形となっている。ただし航空部門の排出枠については考慮されておらず、別途検討される。委員会は2012年末までに新規参入者の増加などで排出枠の値が多少変更する可能性があるとしながらも、今回の発表がほぼ最終決定だとしている。